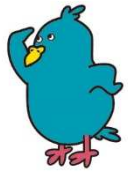




南相馬市 古代製鉄遺跡探検



東北電力(株) 原町火力発電所建設時の遺跡発掘調査(1989年~1994年)で国内最大級の古代製鉄遺跡群が発見されました。

遺跡は7世紀後半~10世紀頃(飛鳥・奈良・平安時代)のもので、「南相馬市博物館」と「原町火力発電所埋蔵文化財保存館」で製鉄炉の遺構や出土品を展示しており、古代たたら場の息吹を感じることができます。



南相馬市金沢地区で製鉄が盛んだった理由



- ◆ 7世紀後半に大和政権の支配は宮城県まで及んでいました。
この当時、金沢地区は農工具等の生産拠点として製鉄が開始されました。
- ◆ 8世紀後半、大和政権による支配強化に反発した蝦夷(政権に従わない東北部の人々)が大規模な反乱を起こし、戦いは38年間も続きました。
- ◆ 政権は坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命、征夷軍の大軍を派遣し、戦いを終結させました。この頃、金沢地区は征夷に必要となる武器や農具の補給のため鉄の生産が最盛期を迎え、その後、10世紀初頭まで約200年間に渡り製鉄を行いました。

= 当時の製鉄の様子 =

①粘土で炉をつくる



③木を切る



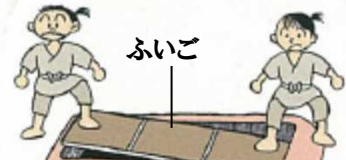
②砂浜で砂鉄をとる



④木炭をつくる



⑥ふいごを踏んで炉内に風を送り、鉄をつくる



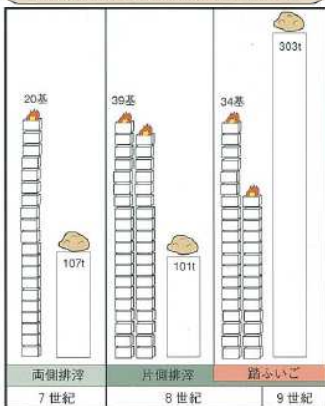
⑤砂鉄と木炭を炉に入れる



⑦炉内から鉄を取り出す。(炉を壊して取り出す)

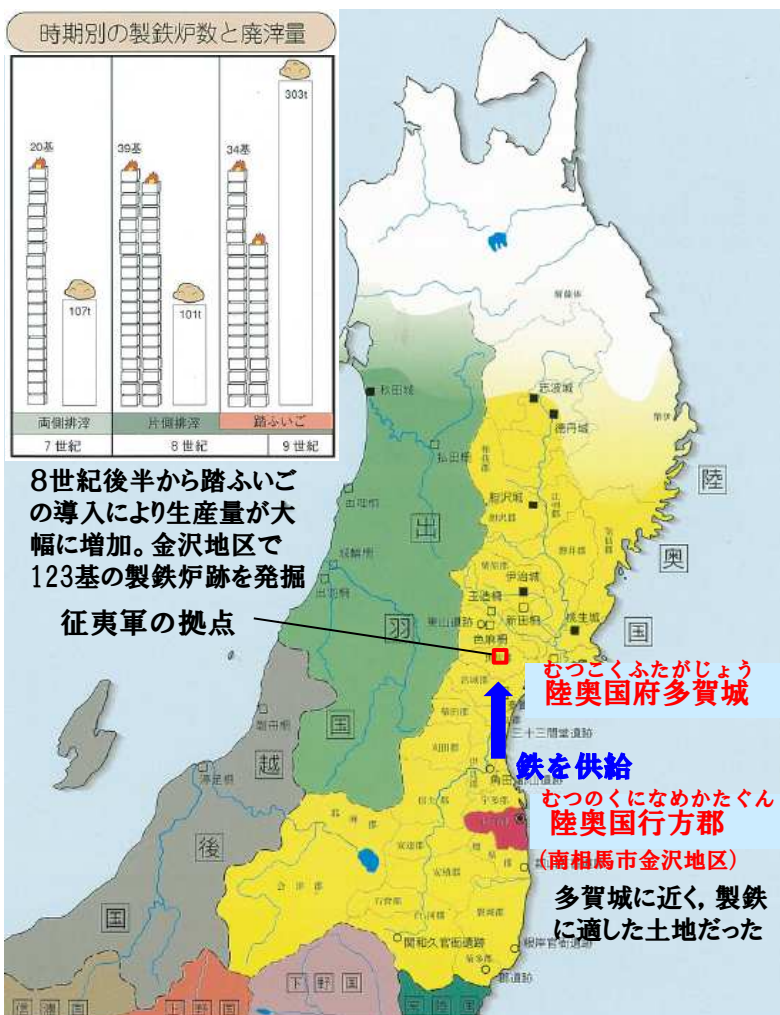
廃さい(カス)

時期別の製鉄炉数と廃滓量



8世紀後半から踏ふいごの導入により生産量が大幅に増加。金沢地区で123基の製鉄炉跡を発掘

征夷軍の拠点



むつごくふたがじょう 陸奥国府多賀城

鉄を供給
むつくのくになめかたぐん 陸奥国行方郡 (南相馬市金沢地区)

多賀城に近く、製鉄に適した土地だった



南相馬市博物館



博物館全景



豎型炉(展示)



シアター

南相馬市博物館

〒975-0051

南相馬市原町区牛来字出口194番

Tel.0244-23-6421

URL <http://www.city.minamisouma.lg.jp>

・開館時間

9時～16時45分(最終入館16時)

・休館日

毎週月曜日(休日の場合は翌平日)

12月29日から翌年1月3日まで

相馬野馬追最終日の月曜日は開館

(翌日休館)

・観覧料

区分	個人	団体
一般	300円	250円
高校生	200円	150円
小・中学生	100円	80円

※無料観覧日あり。詳細はHPで確認して下さい。



原町火力発電所構内 埋蔵文化財保存館



木炭窯保存館

製鉄炉保存館



箱型炉(展示)



踏みふいご付き箱型炉(非展示)

原町火力発電所

〒975-0021

南相馬市原町区金沢字大船迫54番

Tel.0244-24-1614

・見学対応時間

10時～12時, 13時30分～16時

・見学可能日

平日(年末年始除く)

・見学申し込み

見学を希望される方(個人, 団体問わず)は発電所まで電話でお申込みください。

また, 埋蔵文化財保存館と発電所を合わせて見学することも可能です。

古代遺跡ロマンと1000MW石炭火力発電所の迫力を合わせて体感してください。



【製鉄炉の進化】箱型炉 ⇒ 豎型炉 ⇒ 踏みふいご付き箱型炉